

新美南吉と東三河 文学的成長の道標 — 伊良湖岬訪問

「潮騒」と言います。しかも、伊良湖を詠う万葉集の柿本人麻呂らの和歌にも見られる古い言葉ですが、三島由紀夫の同名の小説の登場により、若い男女の恋心のざわめきを、伊良湖水道の潮流に重ねてイメージする方も多いことでしょう。その三島が「潮騒」執筆のため神島へ取材旅行に訪れる15年前(昭和13年)、愛知の生んだ童話作家・新美南吉が、同じく伊良湖水道の「潮騒」を聞きながら、渥美半島で句を残していることは、語られることが少ないようです。

そもそも知多半島出身の南吉にとって、海は身近な文学素材でした。例えば、東京での文学修業を病気に断念した彼が、帰郷後(昭和11年)、真っ先に手掛けた自伝的小説の草稿「灯のない蜩」(旧題「蜩いるの灯」)は、伊良湖岬からも程近い篠島を舞台に、海を臨む環境の中で、若い男女の心の距離が縮まっていく青春小説です。

さて、作家の夢破れた無名の女学校教師・南吉の伊良湖岬訪問は、俳聖・芭蕉への対抗心も見え隠れする。「黒牛に路はばまれぬ伊良湖岬」という句には、芭蕉の「鷹一つ見付けてうれし伊良湖崎」が意識されているかもしれません。そして、「人も牛も地曳綱(チビキ)をひけり秋の昼」となみの閑けさや道に「芋干す」を始めとする、南吉童話にも通底する昔ながらの庶民生活を見つめた句に混じり、潮騒の印象を詠むユニークな次の一句が異彩を放ちます。

寄稿 新美南吉と渥美半島の「潮騒」

「この岬の突端秋潮寄り寄る」寄る、寄る、波！ 押し寄せる波の切迫感を、南吉は鷹揚(おつよう)な五七五の定型リズムに閉じ込めはしませんでした。ダイナミックに躍動する外海への驚き・感動は、俳句の概念を逸脱する、野心的な自由律で詠われます。フランスのルナールらに影響された、当時の最先端の短詩への接近も思われます。

この2年後、豊川市の宮路山頂から渥美半島の全容を眺望した時、再び自由律俳句に挑み多作している南吉にとって、作家・詩人としての成功へと至る、模索の過程



新美南吉(新美南吉記念館提供)

俳聖・芭蕉への対抗心も見え隠れ

において「渥美半島」そして「寄り寄る波」との出会い、大きな意味を持っていたと考えられます。なお東京外国語学校で英語を修めた南吉は、自宅療養のため帰郷する直前、戦前に計画されていた東京五輪を控え、外国人向けの土産物の英訳作業に従事していたこと。生前、作家として注目されることなく報われることの少なかつた南吉でしたが、死後、全ての日本の小学生が国語の授業で習う「いんぎね」の作者として名を残します。この国民的童話作家の手になる渥美半島を詠む佳句は、南吉の文学的成長の道標の一つとして記憶に留めておきたいものです。

また、南吉の感動体験としての渥美半島が誇る「寄り寄る波」は、今や、世界に冠たるサーフィンのメッカの象徴として知られるに至っています。三島由紀夫や昨今のサーファーたちに先駆け、渥美半島の奏でる潮騒に魅せられた新美南吉。東京五輪も見据えながら「サーフタウン」を標榜(ひょうぼう)する渥美半島・田原市の夢あふれる未来を、東京五輪ゆかりの先人・南吉も、天国で祝福しつつ見守つてくれているのでしょうか。

(新美南吉研究者・鈴木真喜生)



豊橋市役所講堂で講演する中野教授

豊橋技術科学大学 学長補佐で男女共同参画を担当する中野

豊橋技術科学大学長補佐 中野教授が講演

女性活躍 意識変革説く

豊橋女性農業団体連絡会総会で

裕美教授は28日、豊橋市役所講堂で開かれた豊橋女性農業団体連絡会総会に招かれ「男女が共に輝いて活躍するために」

ひとりひとりの個性を活かすダイバーシティ社会の演進のことも、講演会を実施した約90人の同会会員らが熱心に耳を傾けた。中野教授は、今後懸念される大量離農時代に向け、若い世代が苦にならないワークライフバランスを確保した農業の必要性を訴えた。その上で、女性活躍推進の経営効果や女性が産後を機に仕事を辞めた場合の生涯所得への影響など、様々なデータを提示。個性を認め、個人力を生かすことが大切だとした。

さらに、職員の昇進意欲を問う愛知県

きょう海王丸など 3隻が一般公開 海フェスタ東三河 物産展など多彩に 日本最大級の海の祭典「海フェスタ東三河」(同実行委員会主催)の会場となっている豊橋市神野ふ頭町の神野ふ頭3号岸壁に30日、帆船「海王丸」と中部地方整備局海洋環境整備船「白龍」がお目見えした。

イベント最終日となる31日には、この2隻に加えて帆船「みらいへ」も登場し、合わせて3隻が

東日案内
 広告のお申し込みは
 ☎0532-53-2800

画材屋 **Mアシモト**
 〒440-0813 豊橋市舟原町1-17
 TEL・FAX (0532) 55-4001
 定休日/日曜日

みか牛
 毎月 9日 19日 29日 は肉の日セール
 株式会社 **山田**
 豊橋市網田町5-1
 TEL(0532) 54-3768 代 FAX(0532) 54-3824

伝統的工芸品・豊橋筆
書道用品専門店 高誠堂
 〒440-0804 豊橋市呉服町44 ☎52-5514

無投薬飼育の健康卵
アサヒ
 ●健康で安全なうずら育てるため 水・エサ・飼育にこだわっています。
 〒441-0151 豊橋市日色野町西柳9番地
 ☎0533-73-2540 ☎0532-35-4977

夏本番! 暑い夏は生ビールとおすすめの料理で暑気払い!
【完全予約制・ご予約はお早目に!】

★幹事さん詳細はお問い合わせ下さい
TEL0532-55-5591

スーパーバイキング

獅子王

豊橋市駅前大通り(開発ビル地下1F)

飲み放題! 食パ放題!

お一人様 **4,800円** (税込)
 ●時間の制限はありません
 営業時間/PM5:30~9:30 (ラストオーダー9:00)